

主な活動の紹介

安下庄中学校は、周防大島高等学校と中高連携教育に取り組んでおり、6年間を見通したテーマを「郷土おおしま」を設定し、これを踏まえて学年ごとに活動を計画しています。地域の人との交流を通して、郷土についての理解を深め、郷土の歴史や文化の継承と郷土を愛する心の育成をしています。

小学校3校のKS学習では、3校の研修テーマを共通のものとしKS学習で行われる授業をもとにした共同研修を進め、3校の教員でめざす授業づくりを検討しています。また、外部指導者を招いて、授業を行ってもらったり、指導助言をもらったりしながら、研修の充実を図っています。

KS学習では、児童がみんなで知恵を出し合いながら解決していく内容やグループ活動を取り入れたり、他校の児童とも交流する場を設けたりして、少人数では体験できない学習を進めています。



母親クラブによる劇

安下庄地区では、社会教育の講座数が多く、公民館活動を中心とした生涯学習への取組が活発です。また、子ども会育成会やスポーツ少年団の活動など、社会教育と学校教育・家庭教育の連携により、児童の健全な育成が積極的に図られています。地元の歌手が学校に出向き、歌の披露や漁業体験活動を行っています。



さつまいも料理

日良居地区では、さつまいもの畑作り、さつまいもの植えつけ、いもほり等の活動を行いました。さらに、「食生活改善推進員」の方にさつまいもを使った料理の作り方を習い、調理実習を行いました。また、「島中応援隊」に手縫いやミシンの使い方を一人ひとりに丁寧に指導していただき、作品づくりをスムーズに進めることができました。

浮島地区では、一大イベントとして地域ぐるみの運動会があります。地域ぐるみで運動会に参加して大変盛り上がります。競技への参加はもちろんのこと、準備係・演技係として、地域の方に運営にも参加していただいています。

「たちばなっ子クラブ」は、安下庄・島中小学校の児童を対象に、毎月1回土曜日に橘総合センターで、工作や料理の体験活動を行っています。新規事業として、夏休みに「宿題をやっつけろ大作戦」と称して、児童が高校生に学習の支援をしてもらいました。小学生の感想では、「ヒントをくれたり、丁寧に教えてくれたりしたので、とても楽しかった。来年もぜひ参加したい。」と、大変好評でした。今後も高等学校と連携してこの事業を継続し、参加者をもっと増やしていきたいと思えます。



介護施設訪問



「合同体育」の授業風景



漁業体験活動



地域ぐるみの運動会



高校生との交流

成果と課題

学校から地域の方へ協力をお願いしたところ、快く引き受けてくださり「浜の学校」として皆さんに親しまれる活動となっています。学校と地域が、双方向での情報提供を行うことで、交流がますます深まりました。

課題としては、年間を通した計画的な活動とはなっていないので、協議会等でしっかりと話し合いをする必要があります。また、広報活動を工夫して協力者を増やしていきたいです。

今後の取組

今後は、これまで取り組んできた小小・小中・小高・中高連携の横と縦のつながりを基に、外部団体との交流を深め、地域協育ネットを広げていきます。協議会の運営方法や講師・ボランティアなどの情報を共有して、より一層地域とともにある学校づくりをめざして活動していきます。